



大杉東小だより

令和7年6月1日 No. 3

江戸川区立大杉東小学校 校長 高橋 真

最後まで走り抜けた東っ子

この一週間、天気予報とにらめっこの日々でしたが、本日無事に運動会を開催することができました。自校開催は4年ぶり。本校にとって新しい校庭での記念すべき1回目の運動会でした。各学年の表現を中心に、運動会を振り返ります。

朝一番は、金管バンド部の演奏から始まりました。5月25日（日）に予定していた中央地域まつりのパレード参加が雨天中止になってしまったため、運動会のスタートを飾ってもらいました。全員の運動会に向かう気分を高めてくれました。



1年生の表現「かわいいだけじゃおわらない！We are ひがしっこ」では、キラキラしたポンポンと子供たちのあふれる笑顔が輝いていました。1曲目のかわいさと2曲目の格好よさを上手に表現していました。難しい振付もしっかり覚えて立派でした。

2年生は、4月からフラフープの練習に励んできました。最初は全く回せなかった子も友達と教え合ったり家で練習したりすることで、腰回しだけでなく、腕や足でも自在に操れるようになりました。2曲目の笑顔あふれるダンスもすてきでした。



3年生の「エイサー～疾風迅雷～」は、気合の入った太鼓からスタートしました。揃った太鼓の音が校庭に響き渡りました。腕を大きく振ったりバチの先まで視線を向けたりすることを意識して練習してきましたが、その成果が存分に発揮されていました。

4年生は、「協力して楽しむこと」をこの運動会のテーマに、グループで動きを考えたり、フラッグの音が響くように力強く振ることを意識したりして練習を積んできました。スタートのハイタッチからフィナーレの挨拶まで揃った動きがすてきでした。



5年生の「組体操・ダンス～一致団結～」は、ダンスプロジェクトチームの子供たちが中心となり、自分たちでダンスを考えました。表現豊かに踊るダンスと、そのあとの真剣な表情での組体操のギャップが素晴らしかったです。

6年生は、令和から6年生の伝統となった「南中ソーラン」を見事に踊り切りました。練習当初から意欲が高く、自分たちで動きを高め合いました。かけ声も勇ましく、最高学年として後輩たちに向けて手本を十分に示し、伝統を引き継いでくれました。



昨年度まで練習時間や場所を確保が難しく行っていなかった「赤白対抗リレー」も復活しました。補欠も含めて選手たちは、給食前や放課後に熱心に練習に励んできました。各学年を代表する素晴らしい走りは、最後の競技に相応しく、大いに盛り上がりました。

代表委員の子供たちを中心に考えたスローガン「最後まで走り抜け東っ子～新しい校庭で楽しもう！～」を全員で成し遂げた運動会となりました。この成果を今後の学校生活に生かしていきます。

地域の皆様、保護者の皆様、温かいご声援をありがとうございました。